



元気っ子

No.237 ながさわ保育園

平成 29 年 5 月号

園 長 市 川 温 予

新緑が美しい季節になってきました。新年度の保育がスタートしてはや一ヶ月が経ちました。新入園児、在園児とも新しい環境にも少しずつ馴染んできて、一人ひとりが落ち着く場所や遊びを見つけ出しています。お天気の良い日は、散歩に出かけたり、園庭で楽しそうに遊んでいます。園庭で遊んでいるところを見ると、一人ひとりが好きな遊びをしています。サッカーをしたり、お友だちと手を繋いで笑いあったり、先生と一緒に追いかっこをしたり、ダンゴ虫や蟻に夢中になっている子もいます。新入園児も戸外に出ると心が開放されるのか笑顔がいっぱいです。

こうして子ども達は自分で自分の居場所を確保していきます。まだ少し涙する子もいますが、その子のペースで少しずつ居場所を確保し、“保育園って楽しいな！”と感じてくれたらいいなと思います。

先生達も一人ひとりの姿を大切に子ども達の思いを丁寧に受け止めるように保育をしています。子ども達は自分の思いをまるごと受け止めてくれる人を好きになっていきます。「人への信頼感」「安心感」「安定感」が心の育ちの中心にあることがとても大事なことで私は思っています。そしてクラスの中に居場所があり、安心して生活できること、またお友だちと一緒に遊んだり、一人で遊んだりといろんなことを経験し人間関係のトレーニングをいっぱいしてほしいと思っています。

これからさわやかないい季節になりますので、自然の中で五感をフルに使い活動してほしいと思っています。五感を刺激しながら様々な生の体験をし、そこから生まれる喜びや感動は心と身体の基礎を作っていきます。人間形成の基礎が培われる乳幼児期です。子ども時代を子どもらしく、子ども達が夢中になって遊び、ぶつかり合いながらも折り合いをつけ、楽しく生活できるように援助していきたいと思っています。

“楽しく・元気に・のびのびと”です。

